

## 沖縄県総合防災訓練に初めて参加

### ●社団法人 琉球水難救済会

社団法人琉球水難救済会〔会長翁長雄志〕では、沖縄県が主催する平成一九年度沖縄県総合防災訓練開催に伴い、海上部門の訓練に初めて参加しました。

訓練は、沖縄本島那覇市西方約100キロの久米島町に現地災害対策本部を設置し、78機関・団体約2,500人が参加して行われ、海上部門の訓練は、津波行方不明者捜索・救助訓練、海上孤立者救助訓練が想定されました。

訓練には、比嘉榮仁副会長及び常務理事も参加、また久米島救難所から救助船7隻が出動しました。

現地災害対策本部では、救助船の出動に伴い、場内アナウンスで、琉球水難救済会の組織及び県内における救難所の救助活動状況等について紹介を行い、訓練が行われました。

今回の訓練参加で、沖縄県、各機関、団体、



左から能登署長・向氏・福光氏・  
珠洲市長

県民等に対し、琉球水難救済会の事業活動等の存在感を新たに高めるとともに県内の救難所及び救難所員にも震災時等における自己の避難及び他の災害救助活動等の対応意識の高揚を図ることが出来、多いに成果のある訓練でした。

今後もこの種訓練には、積極的に参加し、水難救済事業活動等の思想普及に努めていきたいと思ひます。



災害対策本部の状況



観客の状況



救助船による捜索救助活動



救助船7隻出動

## 「沖に流された男性2名を救助した救難所長と所員を表彰」

### ●NPO法人能登水難救済会

NPO法人能登水難救済会（会長 武元 文平）では、10月1日午後、珠洲市役所市長室において、男性2名を救助した珠洲救難所長福光鹿良氏と同救難所救助員向修平氏に対し本会会長からの表彰状伝達式を行いました。

本年8月8日に、珠洲市金川沖に流された男性2名を救助したもので、NPO法人能登水難救済会副会長である泉谷珠洲市長から表彰状が手渡されました。



## 「芦ノ湖湖底 清掃を実施」

- 西神奈川広域救難所
- 西神奈川ダイビング事業者安全協議会

西神奈川広域救難所と西神奈川ダイビング事業者安全協議会が平成19年12月17日、箱根芦ノ湖において湖底清掃を実施、ボート、タイヤ、ビン等、多数のゴミを回収しました。

